

更新

事業者名

株式会社アースコーポレーション

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

全てのステークホルダーの満足度や利益が最大化されるよう、事業を推進するとともに、地域に応じた問題の解決に努め、「住みたいまち」で「生きがいと働きがい」を感じるために、「生産者と消費者を繋ぐ」企業を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	廃棄食材(フードロス)の減少 引き続き玉名市や関係機関と連携を図り、継続した寄付を行っていく。	一般の市場には出せず、そのままではフードロスとなるが、品質に問題ない「ふるさと納税返礼品」の企画件数(玉名市、和水町、苓北町の合計数) 2023年49件⇒2026年60件
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	働きやすい環境整備 各社員のライフワークに応じた短時間勤務制度の拡充や有休取得率の向上を進めて、働きやすい環境を整える。	有休取得率の向上 2023年度:67%⇒2026年度:80%
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地域経済の活性化の推進 ふるさと納税事業や運用するECサイトによって、地域産品の掘り起こしや効率化を促進して生産者の能力を高め、高付加価値化と合わせて所得向上の一翼を担う。(返礼品の提案・見直し、継続してのサポート、SNS活用を強化し、地域のモノや事業者を全国へ広める役割を果たす)	農産物・海産物の加工場設置提言件数 2023年0件 → 2026年3件

<パートナーシップ>

消費者、地域生産者(取引先)、行政の三者が相互に信頼関係を構築するため、弊社は消費者に対しては適切な表示・連絡を行い、地域生産者や行政にはフィードバック報告や各種イベントを通じて密接に関わってきた。今後も関係機関とさらに細やかな連携ができるよう、サポート体制の充実をさらに図る。

【関係機関との連携】

- ・玉名市ふるさと納税事業(玉名市地域振興課)
- ・和水町ふるさと納税(和水町まちづくり推進課)
- ・玉名市フードバンク(玉名市くらしサポート課)
- ・社)熊本県ひとり親家庭福祉協議会
- ・NPO法人キッチンるば

「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	廃棄食材(フードロス)の減少 ・過多となった在庫品や規格外品をECサイト等で販売した。 また、加工品原料化など新たな用途を掘り起こして低減することを検討した。 ・玉名市フードバンクと連携を図り、毎月、継続した寄附を行っている。	・在庫過多や規格外品をECサイト等で販売していきたい。 ・玉名市フードバンクと連携を図り、毎月、継続した寄附を行っていく(令和3年6月24日・協定書調印予定)	玉名市フードバンクと令和3年6月24日協定書調印
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	働きやすい環境整備 短時間勤務制度やその適用の拡大、有休取得率の向上によって、働きやすい環境を整えてライフワークバランスの充実を図った。	短時間勤務制度やその適用の拡大、有休取得率の向上によって、働きやすい環境を整えてライフワークバランスの充実を図った。 有給取得率 2020年度:40%⇒2023年度:60%	有給取得率 2020年度:40%⇒2023年度:67%
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	地域経済の活性化の推進 ふるさと納税事業や運用するECサイトを通して地域産品の需要を掘り起こして高付加価値化し、地域の生産者へのフィードバックによって生産の効率化やモチベーションアップに貢献してきた。	ふるさと納税事業や運用するECサイトを通じ、地域の生産者の生産力と所得向上の一端を担う。 例)・返礼品の提案・見直し ・新規販路の開拓	返礼品の提案・見直しや新規販路の開拓による地元事業者の新たな出荷のサポートが多数あった。 例)豚肉、すいか、みかん、海苔

「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。